
F S . 桃山

由一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

FS・桃山

【コード】

N3021U

【作者名】

由一

【あらすじ】

少女少女は自らの創りだした世界へ飛ばされて……
青春戦国ファンタジー活劇ここに開幕！

挿絵も一部付きます。

【第一章】(1) 文化祭の日

10月25日(土曜日) 正午。

ここ神埼高等学校は、文化祭の真ただ中だった。うちの学校の文化祭「響辰祭」は、ここいら近辺ではクオリティの高さで群を抜いていて、外部からの来訪者も多く毎年大盛況。今年もそれに洩れず、宣伝の効果も重なってどっかのマンガフェスタ並みに校舎内は人でごった返していた。

俺は、そんな人ゴミの中を何とか買う事の出来たフランクフルト & やきそばを持って掻い潜る。

あまりの暑さに汗が込み上げる。

ドオン。

メタボなお腹のおじさんに弾かれて、俺はふらついた。思わず天井を見る。紙で作った輪飾りがゆらゆら揺らめいているのが見えた。

「いつてえ……畜生、たまったもんじゃねえな。」

昼ご飯の買い出しを賭けた紙相撲の対決で俺はビリになった。本当に誤算だった。まさかあの3人ともがあそこまで紙相撲が強いとは思わなかったのだ。台の叩き方が絶妙だった。やっぱり、実力があまり伴わないジャンケンで決めた方が良かったと後悔したが、既に後の祭りだ。

俺、徳川とくがわ 康一こういちは見事にこうしてパシリをやらされているわけだ。

【第一章】(2) 部室へ帰り

「PC室B」

俺達「ゲームプログラミング研究会(通称ゲープロ)」の部室に俺は何とか辿り着いた。

やっと戻ってきた此処も人で埋まっただが、部員の座るところは立ち入り禁止なのでそこにたどり着けばやっとこの窮屈な思いとはおさらばだ。

パソコンに向かう生徒や部外者を尻目に俺は部屋の奥に奥に移動する。

皆、デスクトップに貼り付けの虫だ。俺には目もくれない。

俺に目をくれるのは、腹が減った部員どもだけだった。

「遅ーい！ 何してんのよ、康一の鈍間！ ホント、あんたってトロインだから」

帰って来た早々にいつものニクッたらしい声が飛んで来る。

椅子に足を組んで腰かけて偉そうに言い放ったのは、短髪にへんな力チューシャをした俺の一応の幼馴染みである 斎藤 ロシ だ。

俺は、そのムカつくくらいに全てが整ったその顔をぎいっと睨みつける。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3021u/>

FS・桃山

2011年10月9日04時03分発行